



就任のご挨拶

大河内 彩子

大学院医系科学研究科 保健学分野 地域保健看護開発学 教授

出身地

愛媛県

研究内容

VRを用いた発達障害児の感覚特性と困難の可視化、社会的に脆弱な人々への地域における看護支援

趣味

カフェ巡り、美術館巡り、ショッピング

好きな言葉

真の発見の旅とは、新しい景色を探すことではない。新しい目で見ることなのだ。

2026年4月1日より、広島大学大学院医系科学研究科 地域保健看護開発学の教授を拝命いたしました、大河内彩子と申します。私は東京大学保健学科を卒業後、大学院にて健康社会学を専攻し、留学先では人類学を学びました。臨床の後、愛媛大学・横浜国立大学・熊本大学で保健師教育に携わってきました。

これまで、頸髄損傷者や野宿生活者を含む身体・精神障害のある方々、そして発達障害児を対象に、生活や健康に関する課題に向き合いながら研究に取り組んでまいりました。

近年は、発達障害児の感覚特性に着目し、VRや視線計測を活用した新たなアセスメント手法の開発に取り組んでおります。また、被災者の社会的孤立の解決も目指しています。

今後は、看護学を基盤としつつ、多分野との連携を通して、誰もがその人らしく生活できる社会の実現に貢献してまいりたいと考えております。皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



就任のご挨拶

宮崎 充功

大学院医系科学研究科 保健学分野 生理機能情報科学 教授

出身地

静岡県

研究内容

骨格筋の恒常性制御機構の分子基盤解明

趣味

ロードバイク

好きな言葉

Luck is what happens when preparation meets opportunity.

この度、広島大学大学院医系科学研究科 生理機能情報科学の教授を拝命いたしました宮崎充功と申します。

私は2001年に札幌医科大学保健医療学部理学療法学科を卒業後、筑波大学人間総合科学研究科にて博士（学術）を取得しました。その後、米国ケンタッキー大学に研究留学し、帰国後は北海道医療大学を経て、2021年より本学にてテニュアトラック准教授として着任いたしました。

これまで、骨格筋の恒常性制御に関わる分子機構解明に取り組んでまいりました。近年は、冬眠動物をモデルとして、長期間の不活動・低代謝状態においても筋肉が維持される仕組みに着目し、その分子基盤の解明を通じて、「使わなくても衰えない身体」の実現に向けた研究展開を目指しております。

今後は、教育・研究活動を通じて本分野の発展に貢献するとともに、次世代を担う人材の育成に尽力して参ります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。